

名勝哲学堂公園整備検討委員会 令和7年度第2回 議事概要

学識者委員の出席状況	亀山委員、内田委員、北田委員 ※栗野委員：個別説明を実施
議事の概要	<p>【実施設計（第一期）について】</p> <ul style="list-style-type: none">・石造物の高圧洗浄時に圧力を強くし過ぎて石を傷めた例がある。三祖碑等に用いられている安山岩は板状に剥がれやすい性質を持つことにも留意し、慎重に施工されたい。・筆塚の後方三辺に設置する土留めは、板柵では数年で劣化してしまうことも考慮し、材料を検討した方が良い。・三字壇の大理石欠損部は、構造上支障が無い限りは手を付けないことが好ましく、消失した部分の貼り替えのみを行うことで良い。・三字壇のたたきコンクリートにクラックが生じている件について、適正な保存のために保護が必要なのであれば、見栄えの問題はあるが、当面の間はマットのようなものを被せておくような判断もあり得る。また、近接するクスノキの根がクラックの原因と想定されるため、対処を行うべきである。・唯物園に至る一帯については、「哲学堂案内」の順路をもとにサインの設置位置や向きを決めることで良い。・石標の文字への塗装については、石質や書体、彫り方等を踏まえて丁寧に検証した方が良く、洗浄のみでも視認性は高まると考えられる。・手すりや柵の色味については、節や年輪などその木の本来の感じに合う色を選定した方が望ましく、往時使われていた無垢材をベースに、自然色に近い明るい色合いから選ぶという方向性で良い。・意識駅周辺から対岸のマンション等が丸見えのため、実生木を大きく育てるなどし、ある程度遮蔽することが望ましい。 <p>【長期的な植栽管理の方針について】</p> <ul style="list-style-type: none">・唯物園北側の斜面に選択的に陽樹を育成する場合は、大木にならないものなどを選定する必要があるため、樹種を例示した方が良い。・古建築物等の維持のために管理作業を行う旨を明記した方が良い。 <p>【常識門の修復工事について】</p> <ul style="list-style-type: none">・施工後直ぐになじんでくることから、古色塗は行わなくて良い。 <p>【六賢台の耐震診断・修復設計について】</p> <ul style="list-style-type: none">・今後解析を行うにあたり、建物の内外観が変わらないよう、補強はなるべく見えない所で行って欲しい。 <p>【石積（独断峡・心理崖・造化壩）の診断調査について】</p> <ul style="list-style-type: none">・水抜きパイプが詰まっているかも点検しておいてほしい。